

調査研究等事業報告書 (個人用)

一関市議会議員 千葉 大作 様



報告年月日	平成28年11月7日
実施日(期間)	平成28年10月5日~平成28年10月6日
実施場所 (行先等)	北海道 旭川市 正和電工(株)
事業区分 (いずれかに○)	研 修 <u>調査研究</u> 要望・陳情活動 会 議
事業内容	1. 災害用 バイオトイレ 2. 生ゴミ処理用 バイオトイレ 3. 通学用 バイオトイレ
報告者	一関市議会議員 那須 茂一郎 XXXXXXXXXX
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙(1) 2. 概要・・・・・・・・別紙(2) 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙(3)
主 要 資料名	パンフ 1部

1. 目的

災害用のトイレ、生ゴミの処理用バイオトイレ、通常のバイオトイレの調査、視察。

2. 概要

視察先の旭川市の正和電工では、10数年前から様々な用途に合わせたバイオトイレを製作しているという。この一関市でも課題としているものがたくさんあり、それら用途に応じて活用できるものが、多々あると思う。

3. 参考とすべき事項・所感

災害で一番困るもの、それはトイレだという。食べ物、衣類はだれもが気が付き、支援や、体制を取ることができるが、避難や被災される方の多くの方が、不便を来すもの、それはトイレだという。そのトイレを解決するものだと思う。確かに市では、避難場所、マンホールトイレを多数用意しているというが、1階が被災して、2階に避難している方、避難所の下水道が使えない箇所等、多くある。災害が起きたとき、のために、用意しておく必要があるのではないか。また、介護用としても必要便利ではないかと思う。

生ゴミ処理用の大型バイオトイレは、1日に3トン前後の生ゴミを処理でき、ごみの減容化に役立つのではないか。生ゴミの中に、多少の不純物が入っていても問題とせず、設置すればすぐにも使える。中小のものは、家庭用バイオトイレ、又は地域のごみの集積所等において使用すれば、全体の生ゴミの減量に大いに役立つと思う。

又、生ゴミをメタン発酵にという案もあるが、設備の価格の問題、発酵や、消化液（廃液）の処分の課題等、多くの難点を抱えて要^いると言われる。

その点、このバイオトイレ方式は、生ゴミの減容には大いに役立ち、設置したその日から、使えるのではないかと思う。

一関市でもこれらの採用の検討を急がれるよう望みたい。